

冬瓜の中に
天の川が
あるように
見えた。
宇宙が見えた。



2020年 石本正生誕 100年

アフロディア

2020年 石正美術館は
(予定)
6月1日 月 まで **休館中** です
詳しくは本誌2ページをご覧ください。

現行企画展
会期延長
石本正 **夢をえがいて**
2020 3.24 [火] - 8.30 [日]

「沖縄冬瓜」2009(平成21)年(部分) 「石本正記念展示室・企画展示室」夢をえがいて「より」



石正美術館 ミュージアムニュース
SEKISHO ART MUSEUM
MUSEUM NEWS
Spring 2020

No. 143

石正美術館をご利用のみなさまへ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため石正美術館は6月1日（月）まで臨時休館をしております。政府の「緊急事態宣言」解除にともない、すべてのみなさまが安心してご利用いただけるよう、また職員の安全も考慮した感染拡大防止対策を講じて、**6月2日（火）**より営業を再開いたします。^{*}みなさまのご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

※2020年5月22日現在。状況により変更になる場合があります。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

【ご利用のみなさまへのお願い】

- マスクの着用をお願いします。
- 発熱・体調不良の方は利用をご遠慮ください。
- 距離を空けてご利用ください。
- 大人数での来館はご遠慮ください。
- 混雑を避けるため、入場制限を行う場合があります。

【館内の対策】

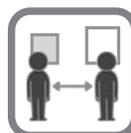
- アルコール消毒液を設置しています。
- 職員はマスクを着用して対応します。
- 受付に飛沫防止シートを設置しています。
- ドアノブなどを定期的に除菌・清掃します。
- 化粧室のハンドドライヤーの使用を停止しています。



マスクの着用



発熱・体調不良の方利用不可



距離を空けて

県外にお住まいの方のご利用について

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、「緊急事態措置」においては、都道県をまたいだ不要不急の移動を自粛することとされています。当面の間、県外にお住まいの方のご利用の自粛をお願いいたします。

※自粛方針の変更など、石正美術館のホームページ、Facebook等で情報の発信をいたします。

美術館をはじめとする文化施設は、
すべての利用者の方に開かれた施設であり、
芸術を通して感動する喜びや心の癒しを提供し、
豊かな情緒を育んでいただける場所であると考えます。
その役割が果たされるよう、安心して石正美術館を
利用していただくための対策に
ご理解いただきますようお願いいたします。
一日でも早く、多くの方が心穏やかに
芸術を楽しめる日が来ることを願っています。



思い出やあこがれ、夢、空想などが、ぼくの絵をつくりあげている。

企画展

石本正

夢をえがいて

幼少期から空想に遊ぶことが多かった石本正（1920-2015、島根県浜田市出身）。自然豊かな石見の地で育まれた想像力と類稀な感性は、戦後の日本画壇に新風をもたらしました。

また、あこがれの美術作品をはじめ、音楽や小説、映画など…いろいろなものを吸収して蓄積されたイメージは、作家となって絵に向かうとき、ふと脳裏に去来し、絵を描く原動力となりました。常識の枠にとらわれず、自由な心で描かれた作品 63 点を3つのテーマに分けてご紹介します。



会期延長

2020

3.24 [火] - 8.30 [日]

新型コロナウイルス 感染拡大防止のため **臨時休館** ～6.1 [月] まで ※6/2 (火) より開館予定。
(変更時は公式ホームページ等でお知らせします)

【料金】一般600(500)円、高校・大学生300(240)円、小・中学生200(160)円

※()内は20名以上の団体料金 ※「しほ家庭の日」毎月第3日曜日に家族で来館された高校生以下の観覧無料

【開館時間】9:00～17:00(入館は16:30まで) 【休館日】月曜日(祝日の場合は開館、翌平日休館)

【主催】浜田市立石正美術館 浜田市 浜田市教育委員会 公益財団法人浜田市教育文化振興事業団

Ⅲ 去来するイメージ

音楽・文学・古典美術など



《椿》1996（平成8）年

「いつもモデルと対象を見ると、いろいろなものが見えてくる。それは音楽であったり、文学であったり、彫刻であったり、または古い映画の一コマであったりさまざまであるが、そういったものが瞬時に頭をかすめていくのである」

Ⅰ ふるさとの思い出

——作画の原点。



《ほっころ》2000（平成12）年

少年時代の思い出から生まれた作品たち

Ⅱ 自由な心で

空想と戯れるように
絵の中で物語を紡ぐ。



《沖縄冬瓜》2009（平成21）年

「ある人が沖縄冬瓜を持ってきてくれた。冬瓜の中に天の川があるように見えた。宇宙が見えた。ぼくは、何気ないものでも美が見つかる」

「本物を見て、感動を味わいたい」

——でも今は少しだけ、家で美術館を楽しもう。



(制作・著作 ひゃこるネットみすみ)

【展覧会紹介動画 公開中】

浜田市公式 YouTube チャンネルで、展覧会紹介番組を見ることができます。



▲QR コード

※石正美術館公式ホームページのリンク又は、右のQRコードからアクセスできます。

※今後 Facebook で作品紹介を随時更新予定です。あわせてお楽しみください。

無二荘 二世牡丹の育成



華晴苑の牡丹の様子 (2020年5月)

新型コロナウイルス関連の不安なニュースが耳に入らない日はありませんが、皆さまいかがお過ごしですか。石正美術館も、このたびの対策として四月十四日から臨時休館中です(五月十四日現在)。私たち職員は館内で通常業務をおこなっていますが、時々展示室に入ってみると、照明もついている暗く静かな展示室の中で、石本先生の作品たちがなんとも寂しげな雰囲気で見ているような気がしてきます。また、美術館の中庭では、今年もまだ桜や牡丹などの春の花々がとてもきれいに咲きました。ただ、し

だれ桜以外は臨時休館中に咲いた花がほとんどなので、美しく咲いた様子を皆さまにご覧いただけなかったことが本当に残念です。今は紫陽花のつぼみが徐々に大きくなってきているところですが、このつぼみが開くころには、皆さんに美術館を訪れてもらえるようになっていると良いなど心から願っています。

今回ここでは、残念ながら休館中に見ごろが過ぎてしまった石正美術館の牡丹園「華晴苑(かせいえん)」の様子を書きたいと思います。

「華晴苑」は、石本先生がスケッチのために長年通い続けた京都の「無二荘牡丹園」から牡丹の株を譲り受け、二〇一六年秋に移植してきた牡丹園です。この関連の事についてはこれまで

ジウムニュースでも触れてきた記憶があります。改めて振り返ってみると、あれからもうずいぶん時間が経ったのだなあと時の過ぎゆく早さを感じてしまう今日この頃です。「やすらぎの中庭計画」と名付けて二〇一五年から計画を進め、ボランティアの皆さんをはじめ多くの方の力を借りながら、牡丹園やカフェテラスの整備、紫陽花の植栽などをしたことをとても懐かしく思い出します。

完成してから三年半の中で、華晴苑にも様々なことがありました。害虫が付いたり、強い風で枝が折れたり、更には、いただいた十三本のうちの四本は環境の変化に耐えることが出来ず完全に枯れてしまったりもしました。そのうちの一本は、石本先生の赤い牡丹の代表作「牡丹」(一九九九年)のモデルになった樹齢約百年の古木で、華晴苑の一番手前に象徴的な存在として移植させていただいたものでした。専門の方が毎日のように通って、牡丹がなんとか根付いてくれるよう出来る限りの手を尽くしてくださっていました。それでも枯れてしまったという事実



直面し、牡丹の移植の難しさを痛感しています。牡丹をお譲りくださった「無二荘」の花守・辻尾さんにも、石本先生にも本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。いまも枯れた跡にはなにも植えずにいますが、その空いてしまった場所を見るたびに悲しくなります。

現在残っている八本の株は、移植当時から大きな変化もなく順調に育っているものもありますが、中には弱って多くの枝が枯れながらも、なんとか根付き新しく出た芽が順調に育ってくれている。そんな株もあります。

私が《無二荘の二世牡丹の育成》を考え始めたのは、そういった牡丹のさまざまな命の様子を見続けていた約一年半前でした。弱って枯れてしまった牡丹があった場所に、もう一度牡丹を

植えたい。でも無二荘から再度移植させていただくことは、危険ともなうしお願いはできない。とはいえ、無二荘以外の牡丹を華晴苑に植えることは避けたい…。

色々悩んだうえで思いついたのが、無二荘から牡丹の種をいただき、それを育成するということでした。

以前辻尾さんから、無二荘の広い敷地内に所狭しと植えられている牡丹は、種から育てて増えていったものがほとんどだとお伺いしたことがあります。それは現在八十代の辻尾さんの曾祖父の時代からのお話で、とても長い年月をかけて今の無二荘があるというのを物語っていました。

種から育てた牡丹は花が咲くまでに十数年かかることもあるそうで、花を見る事が出来るのはもしかしたら石正美術館の次の世代の人たちかもしれない。それでも、今の私たちが種を植えることに意味があるように思えて、辻尾さんに《二世牡丹の育成》のご相談をしたのが二〇一九年の四月でした。辻尾さんから「種を植えるならば《とり撒き》といって、その年にできた種を収穫してすぐ植えるほうが良い」というアドバイスをいただき、ちょうど無二荘が花盛りの頃だったので、辻尾さんといっしょに種をとる株を選びま



牡丹の種まきの様子（2019年10月）

した。この時、「試しに植えてみては」と一年前の種をいくらかいただいたので、美術館に持ち帰ってすぐに植えました。

そしてこの年の秋、春に選んだ株からとれた新しい種を辻尾さんが送ってください、百個以上の種を一度に植えました。サポーターの方にも協力をお願いしたところ、何名かの方が種をご自宅に持って帰って植えてくださったりもしました。

こうして「芽が出てくれますように」と祈りながら植えた種は、プランター十四個分。牡丹の種は植えてもなかなか

か芽が出ないと聞いてもいたので、このうち一本か二本でも芽生えてくれるといいな…と思いつながら冬を越しました。

三月はじめ。今年は暖冬だったし、そろそろ芽生えないかな…と見に行っても、目に入ってくるのは名もわからない草の芽ばかり。これも違う、あれも違うと草の芽を抜きました。

そして三月十五日朝。「とり撒き」のプランターから二本のかわいらしい芽が姿を見せているのを発見。その姿はいかにも「私は他の草とは違うのよ」と言っているような様子で、「百花の王」と呼ばれる牡丹は、芽の時から違うのだなあと思ってしまうました。

その後四月に入った頃からは毎日のように一本ずつ芽が増えていき、今はなんと十三本にもなりました！さらに、種を自宅で植えてくださった方からも「芽が出たよ！」というお知らせをいただきます。今や、この芽が大きく



無二荘二世牡丹の芽（2020年5月）

なった時にどこに植えるかという事を悩んでしまう状態で、うれしい悲鳴です。

石正美術館の土から芽生えた二世牡丹が、無二荘の先輩牡丹に囲まれながらすくすく育ち、そのうちには一緒に大輪の花を咲かせてくれる。そんなことを夢見ながら、引き続きお世話をしていけたらと思っています。いまは毎日変化する牡丹の芽を見ているだけでも楽しいです。皆さんも、今度ご来館された時にはぜひ牡丹の芽も見てあげてください。本当にかわいらしいですよ。

（横山由美子）

おうちで石正美術館

別品べっぴんぬり絵

おうちで過ごす時間の中で、ほんの少し画家気分♪
舞妓さんに素敵な色をプレゼントしてあげてください。



元絵／石本正「舞妓」一九八八（昭和六十三）年



【おうちで石正美術館・別品ぬり絵】紹介サイト
ぬり絵のための色見本は、美術館のホームページに掲載しています。左のQRコードからもアクセスすることができます。下絵のダウンロードも可能です。色鉛筆を使ったちょっとした描き方や参考作品なども掲載していますので、ぜひ参考にしながらチャレンジしてみてください♪
着物の柄は自分で考えたい！という人のために、無地の下絵も用意しています。
(<http://www.sekisho-art-museum.jp/> 石正美術館「別品ぬり絵」メイキング)

※【別品ぬり絵】の名前について

《別品》は「特別に良いもの」という意味の言葉で、美しい女性をさす「別嬪（べっぴん）さん」という言葉にかけてネーミングしました。

SCHEDULE 石正美術館スケジュール

石本正 記念展示室	企画展示室	ギャラリー	ミュージアムパフォーマンス・創作教室
5 4.14 火 → 6.1 月 (予定)		臨時休館	CLOSED
6 「夢をえがいて」 石本正	令和1年度 石正美術館 絵画教室 作品展  6.9 火 → 7.26 日 (入場無料) 9時～17時 月曜休館 昨年度、当美術館で開催された「石本正絵画教室」、「初めての日本画」、「洋画教室」の生徒さんの作品を集めた展覧会です。		企画展「夢をえがいて」関連ワークショップ おもしろ野菜をみて 夢をえがこう！ 6.13 土 (参加費 300円) 13時～15時 場所：石正美術館 回廊（屋根のある屋外） 定員：10名（要予約） 対象：どなたでも（汚れても良い服装にて） 
	3.24 火 ↓ 8.30 日 【会期延長】	絵手紙横丁展 8.1 土 → 8.10 月祝 (入場無料) 9時～17時 月曜休館 絵手紙は「ヘタでいい、ヘタがいい」そんな魔法の言葉に導かれ、楽しく制作に取り組んできた絵手紙教室の皆さんによる展覧会です。かわいい絵手紙が並ぶ「横丁」を、どうぞごゆっくり散策下さい♪ 	
9 8.31 月 → 9.7 月		展示替休館	CLOSED

延期または中止となった展示催事一覧（5月12日現在）

今後予定変更となった場合は当館ホームページ・フェイスブックにてお知らせするほか、ご予約頂いている方にはお電話でお知らせ致します。

延期	コンサート ◆ 4.25 土 「第8回 小さな音楽会」… 振替 未定	中止	ワークショップ ◆ 4.26 日 宮山加代子木版画実演
	ギャラリー展 「～石州和紙と歩んで30年～ ◆ 4.25 土 → 5.10 日 宮山加代子花の木版画展」… 振替 未定		ギャラリートーク ◆ 5.2 土 作品にみる「石本正のえがいた夢」 ◆ 6.6 土
	ギャラリー展 「古布で紡ぐ (予定) 2021年 ◆ 5.16 土 → 5.24 日 古里の物語」… 振替 3.6 土 → 3.14 日		ワークショップ ◆ 5.3 祝 スイーツデコ「メモスタンド」
	ギャラリー展 (予定) ◆ 5.30 土 → 6.7 日 「絵手紙横丁展」… 振替 8.1 土 → 8.10 月祝		ワークショップ ◆ 5.4 祝 「こいのぼりのパッチ」
	ギャラリー展 ◆ 6.30 火 → 7.5 日 「大賀務 & 教室作品展」… 振替 未定		ワークショップ ◆ 5.5 祝 石州和紙でこいのぼりをつくろう
	企画展 石本正 (振替) ◆ 6.30 火 → 10.11 日 「絵を描くということ」… 9.8 火 → 12.21 日		ギャラリー展 島津ヒロユキ写真展 ◆ 7.18 土 → 7.26 日 「益田糸操り人形・大首絵」
	企画展 第10回石州和紙に (振替) ◆ 6.30 火 → 8.16 日 描いた日本画展 … 9.8 火 → 10.25 日		企画展 ◆ 8.25 火 → 10.11 日 第6回石本正日本画大賞展

利用ごあんない

開館時間 9:00~17:00

休館日 月曜日

(月曜日が祝日の場合開館・翌平日休館)

展示替え期間

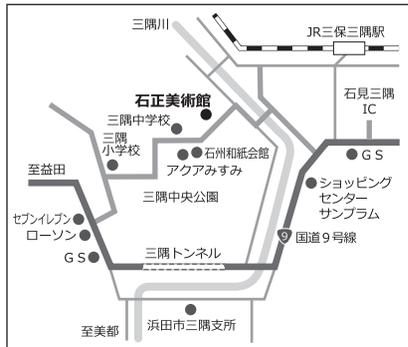
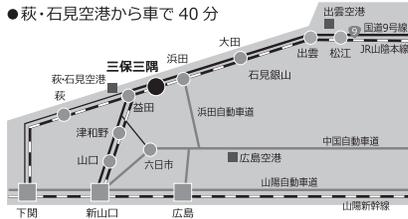
(令和2年8月31日(月)~9月7日(月))

観覧料 一般 600円(団体500円)
 高校・大学生 300円(240円)
 小・中学生 200円(160円)

※20名以上は団体料金。
 ※身体障がい者手帳・戦傷病者手帳・被爆者健康手帳・精神障がい者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの方は半額。介助者は無料です。
 ※「しまね家庭の日」毎月第3日曜日は「しまね家庭の日」(家族連れの高中生・中学生・小学生は無料)。

石正美術館へのアクセス

- 最寄駅 三保三隅駅から車で5分
- JR山陰本線 浜田駅から三保三隅駅まで列車で20分
- 広島駅から浜田駅まで高速/バスで2時間
- 浜田自動車道 浜田ICから車で20分
- 山陰道 石見三隅ICから車で3分
- 秋・石見空港から車で40分



石正美術館 ミュージアムニュース アフロディア

No.143

Spring 2020

令和2(2020)年5月21日発行

編集・発行 浜田市立石正美術館

〒699-3225 島根県浜田市三隅町古市場 589

TEL 0855-32-4388 FAX 0855-32-4389

Eメール sekisho@mx.miracle.ne.jp

http://www.sekisho-art-museum.jp/

石正美術館 検索

「浜田市立石正美術館」で検索



開催延期のお知らせ
 今年、石本正先生の生誕一〇〇年を記念して全国巡回を予定しておりました「生誕一〇〇年 回顧展 石本正」は、各会場すべて開催を延期することとなりました。今後の予定については、また改めてご案内いたします。



生誕 100年 回顧展

石本正

石正アフロディア サポーター通信

活動報告

美化活動 フラワーポット植替え

4月7日(火)、中庭のしだれ桜が落花盛んとなったこの日、マスクの着用など感染予防に注意をしながら、サポーター・くにびき学園園芸科21期卒業生の皆さん合わせて9名の方々と美化作業を行いました。

薄曇りの中はじまったフラワーポットの植替えは、まず栄養たっぷりの土に入れ替え、新しい苗をどんなふうに着せ植えるか、皆さんでお話ししながら植えていってました。この他にも、やすらぎの庭の雑草抜きや前庭の草刈りも行うことができました。美化作業が終わる頃には、太陽が顔を

のぞかせ、額には汗がにじむほどでした。

ご参加いただいた皆様 本当にありがとうございました。



サポーター募集

「できること」を「できるとき」に「できよう」です。

広報 美化活動

展示替え 創作活動

研修旅行

活動を「楽しんで」いただける方、お待ちしております。



封入作業



バックヤード清掃